

◆ 2012年度 学生数(学部) ◆

学部	学科・専攻	1年次	2年次	3年次	4年次以上	合計
一 部	経済	534 (106)	543 (114)	552 (88)	774 (121)	2,403 (429)
	国際経済	215 (101)	220 (96)	233 (99)	311 (124)	979 (420)
	小計	749 (207)	763 (210)	785 (187)	1,085 (245)	3,382 (849)
	法	623 (190)	604 (173)	740 (166)	697 (165)	2,664 (694)
	政治	159 (51)	176 (49)	204 (55)	178 (47)	717 (202)
	小計	782 (241)	780 (222)	944 (221)	875 (212)	3,381 (896)
	経営	599 (190)	706 (180)	581 (200)	743 (207)	2,629 (777)
	商業				8 (1)	8 (1)
	マーケティング	490 (208)	527 (221)	523 (214)	676 (236)	2,216 (879)
	小計	229 (83)	287 (102)	267 (93)	278 (87)	1,061 (365)
二 部	日本語			3 (2)	107 (58)	110 (60)
	日本語専攻					
	日本文学専攻		1 (1)	4 (4)	159 (99)	164 (104)
	小計		1 (1)	7 (6)	266 (157)	274 (164)
	日本文学文化	80 (46)	78 (51)	82 (52)		240 (149)
	英語英米文	176 (105)	173 (101)	168 (104)	168 (105)	685 (415)
	英語専攻			3 (1)	71 (29)	74 (30)
	歴史学専攻			2 (1)	132 (51)	134 (52)
	環境地理学専攻			2 (0)	79 (19)	81 (19)
	社会学専攻		1 (0)		106 (67)	107 (67)
小計		1 (0)	7 (2)	388 (166)	396 (168)	
哲学	88 (40)	61 (31)	90 (46)		239 (117)	
歴史学	137 (63)	144 (65)	139 (64)		420 (192)	
環境地理	62 (19)	59 (22)	58 (19)		179 (60)	
人文・ジャーナリズム	101 (59)	106 (56)	123 (77)		330 (192)	
心理学			2 (2)	66 (37)	68 (39)	
小計	767 (408)	765 (415)	799 (451)	888 (465)	3,219 (1,739)	
ネットワーク情報	284 (75)	245 (67)	238 (70)	356 (88)	1,123 (300)	
心理学	78 (51)	72 (44)	78 (48)		228 (143)	
社会学	138 (92)	133 (68)	166 (94)		437 (254)	
小計	216 (143)	205 (112)	244 (142)		665 (397)	
合計	4,116 (1,555)	4,278 (1,529)	4,381 (1,578)	4,909 (1,541)	17,684 (6,203)	
二 部	経済	102 (18)	118 (13)	108 (24)	183 (22)	511 (77)
	法	161 (36)	148 (41)	135 (32)	291 (55)	735 (164)
	商業				3 (0)	3 (0)
	マーケティング	125 (37)	106 (26)	106 (38)	221 (45)	558 (146)
	小計	125 (37)	106 (26)	106 (38)	224 (45)	561 (146)
	合計	388 (91)	372 (80)	349 (94)	698 (122)	1,807 (387)
	総計	4,504 (1,646)	4,650 (1,609)	4,730 (1,672)	5,607 (1,663)	19,491 (6,590)

◆ 2012年度 学生数(大学院・専門職大学院) ◆

研究科・専攻	1年次	2年次	3年次	合計
経済学研究科	17 (4)	32 (11)	49 (15)	
法学研究科	7 (2)	12 (7)	19 (9)	
日本語日本文学	6 (3)	10 (6)	16 (9)	
英語英米学	1 (0)	2 (0)	3 (0)	
哲学		7 (2)	7 (2)	
歴史学	9 (2)	11 (3)	20 (5)	
地理学	1 (0)	2 (0)	3 (0)	
社会学	3 (1)	5 (4)	8 (5)	
心理学	14 (10)	17 (12)	31 (22)	
小計	34 (16)	54 (27)	88 (43)	
経営学研究科	11 (5)	15 (4)	26 (9)	
商学	6 (2)	7 (4)	13 (6)	
会計学	14 (3)	18 (5)	32 (8)	
小計	20 (5)	25 (9)	45 (14)	
合計	89 (32)	138 (58)	227 (90)	

◆ 2012年度 学生数(大学院・専門職大学院) ◆

研究科・専攻	1年次	2年次	3年次	合計
経済学研究科	1 (0)	1 (0)	3 (2)	5 (2)
法学研究科			1 (1)	1 (1)
民法			2 (1)	2 (1)
公法			1 (0)	1 (0)
小計			3 (2)	4 (2)
日本語日本文学	3 (1)	2 (1)	6 (2)	11 (4)
英語英米学			4 (1)	5 (1)
哲学			1 (0)	1 (0)
歴史学	2 (1)	2 (0)	9 (2)	13 (3)
地理学			3 (0)	3 (0)
社会学	2 (1)	1 (0)	3 (0)	6 (1)
心理学	1 (1)	3 (1)	4 (0)	8 (2)
小計	8 (4)	9 (2)	27 (5)	44 (11)
経営学研究科			3 (1)	3 (1)
商学	1 (0)		3 (0)	4 (0)
会計学			1 (0)	1 (0)
小計	1 (0)		4 (0)	5 (0)
合計	10 (4)	11 (2)	40 (10)	61 (16)

●夏休みを有意義に●

早目の水分補給 熱中症対策に万全を



学生部長
阿藤 正道

前期試験を終え、待ちに待った夏休みがくる。ゼミナールやサークルの合宿を楽しみにしている諸君も多いことと思う。また、夏休みを利用してこの夏も昨年と同様、節電のため冷房が控えめ

海や山に出かける際には天候の変化に注意し、決して無理な行動をとらないことが大切である。最近では思わぬ天候の変化により、ゲリラ豪雨や竜巻などの災害に巻き込まれる可能性も増えているようだ。

「悪い」宗教(破壊的カルト)に気をつけて!

「悪い」宗教(破壊的カルト)に気をつけて! 抱いているので、ご一読いただきたい。

さびしさ、人と一緒にいても感じる孤独、居場所のなさ、何か満たされない感じ、わけのわからない不安や焦り、世の中への疑問、不満、周囲の人たちへの反感や不信感、罪悪感...

健康フラッシュ

話を聞いてくれる、褒めてくれる、食事をさせてくれることもあなど、今までの人間関係では経験がないくらいよくしてくれる。

頭痛? (ネット情報2) かじゅ

頭痛の原因(物理)

キャンパス情報

第7回高校生のための経営実践講座「マネジメントを体験しよう!」

「モスバーガー」を展開する(株)モスフードサービスとの協力で、高校生を対象としたアイデアコンテストを開催。参加費無料。モスランチ付き。

日時: 8月7日(火) 10時30分~16時

場所: 生田キャンパス10315教室 ※詳細はホームページでご確認ください。

申込: 経営学部「公開講座」係 ☎044(911)1256

《学生相談室》

コミュニケーションの仕方等を学ぶ「対人関係理解のためのプログラム」

日程: 8月8日(水)、9日(木) 場所: 生田キャンパス(通い) 参加費: 600円

より良き自己表現を学ぶ「アサーション・トレーニング」

日程: 9月12日(水)、13日(木) 場所: 生田キャンパス(通い) 参加費: 600円

エンカウンター・グループ

黒門祭

第46回黒門祭が6月29日(日)から7月1日までの3日間、生田キャンパスで行われた。

写真研究会

川島杯

連合県人会主催の第46回川島正次郎杯争奪野球大会(実行委員長: 中島広人さん・商4)が5月から56チームが参加し熱戦を繰り広げた。7月5日、川崎市高津区の宇奈根第一球場で行われた決勝戦では、Linesが4対1で夢島組を下し優勝を飾った。写真。

外国語のススメ LL研究室

寺尾 格 経済学部教授 LL研究室長

「声を出す」ために

初夏の日差しが、少しずつ真夏に向けた準備をしている。一日一日のわずかな変化にはなかなか気づきにくいのだが、季節は確実に移っている。

同じ季節は再びめぐり来るだろうけれども、同じ時間は二度と戻ってこない。ドブに捨てるような時間の使い方はモッタナイのではないだろうか。

大学での勉強は、これからの人生と社会活動のための知的な基礎作りだろう。専門知識やガッツが必要なのは言うまでもないのだが、知的活動を支える基礎が、いわゆるコミュニケーション能力である。

そう言うと、すぐにテクニカルな面ばかりを思い描きがちなのだが、目先の技術ばかりを工夫しても、そんなものはすぐに役立たなくなる。むしろ相撲で「三年稽古」と言うような、じっくりと時間をかけた「足腰の強化」という土台を構築しておくかどうか、その後の人生と社会の活動を支える最も重要な課題である。

「三年稽古」の具体策については、それぞれの科目の先生にお任せするとして、外国語の基礎の基礎となる注意を一言。そもそも「言葉」とは、単なる「知識」では終わらず、それをどのように「運用」するのが不可欠である。(運用としての「声を出す」ための身体的「構え」の具体については、LL研究室のホームページから、本稿のロング・ヴァージョンの続きをお読みいただきたい)

*全文はLL研究室ホームページで